

令和6年8月8日

北九州市長 武内 和久 様

北九州市農業委員会
会長 大庭 喜重

農地等利用最適化推進施策の改善についての意見書

我が国の農業・農村は、農業従事者の減少と高齢化が深刻化するとともに、頻発する自然災害の発生や世界的な物価高騰の影響により大変厳しい状況に置かれています。

本市においても、人口減少、農業従事者の高齢化による担い手不足や耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境は厳しく、一刻の猶予も許されない多くの課題に直面しています。

一方で、農政の憲法といわれる「食料・農業・農村基本法」が四半世紀ぶりに改正され、国を挙げて食料安全保障の強化を推し進めていくこととなりました。農業委員会においても、引き続き活力ある農業を次世代に引き継ぐため、担い手の育成と農地保全に一層尽力してまいります。

つきましては、北九州市において早急に取り組んでいただきたい施策に関する意見を、下記のとおり取りまとめました。これらの施策の推進により農地利用の最適化や担い手の確保につながるものと考えますので、令和7年度以降の予算編成並びに農業政策の推進にあたり、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 農業用施設の整備について

用排水路、井堰及び農業用ため池については、既存施設の老朽化により排水機能や洪水調節機能が低下しているため、重点地域を定め、計画的な整備・補修に努められたい。

2 圃場の整備について

農地の集積や大型機械での効率的な農作業の推進及び遊休農地の解消を図るため、圃場の大規模化に向け、重点地域を定めるなど計画的な整備に努められたい。

3 農機具購入の助成について

農業の大規模化・効率化の進展に伴い、農業機械の大型化や高性能化、農業現場におけるIT化等が進み、これらに対する費用が増大していることから、多様な担い手の確保に向け、購入費用に対する助成制度の拡充に努められたい。

4 有害鳥獣等の対策について

有害鳥獣による農作物への被害が拡大しており、市も様々な対策を実施している。しかし、農業者や狩猟者の高齢化、担い手不足などによりその対応が困難となっていることから、狩猟者の確保並びに狩猟者の技術の向上を図るなど即効性のある対策に努められたい。